

大町病院を守る会会報

№. 29

2013 年 11 月発行

大町病院を守る会

発行責任者北村喜男

みんなの力で大町病院を盛り上げるために

地域懇談会は

11 月 20 日（水） 19 時大町多目的ホール

11 月 25 日（月） 19 時白馬村ふれあいセンター

まなび、考え、話し合おう

現状と課題、住民の期待する病院像は

11 月 20・25 日守る会と大町病院は共催で地域懇談会を開催します。

大町病院は平成 23 年度黒字となりましたが今年度は今も続く医師不足、耐震改修によるベット数の制限などのため、入院患者が大きく減少し、大変な危機になっています。現在までの対応や患者減少の原因について報告し、住民の皆様とともにこれからの病院像を考える会となります。

皆さんの積極的な意見をいただきたいと考えています。

会員・市民・職員の皆さんの積極的な参加をお願いします。お誘い合わせの上ご参加ください。

次第

・病院からの説明

「市立大町総合病院の現状と課題」

副院長 高木 哲 医師

「今後の病院のありかたについて」

大町会場 病院事業管理者 山田博美医師

白馬会場 院長 井上善博 医師

・守る会の活動報告

・懇談

地区	実施日時	会 場
大町会場	11 月 20 日（水） 19：00～	商工会議所隣り併設 多目的ホール
白馬会場	11 月 25 日（月） 19：00～	白馬村保健福祉ふれあいセンター

近未来を見通し

大町病院における施設整備は着々と



大町病院は、長野県地域医療再生事業による補助金を受け、今 25 年度から 27 年度までの 3 年間で、がん診療、救急医療の充実と災害拠点病院としての機能を充実してくための施設整備を行なっていく予定です。

医療器械の整備

医療器械の整備は、がん診療用として、MRI や CT などの高額医療器械の更新をはじめ、内視鏡、手術室の器械整備を実施していくこととしています。また、救急用は、血管撮影装置や移動式 X 線など、救急医療に欠くことのできない機器を整備していく予定としています。

施設の整備

施設整備は、東側駐車場の現プレハブ棟の位置に 2 階建ての新棟を建設し、大災害時における傷病者の受け入れ施設（講堂）や内視鏡室、血管撮影室などを整備していくほか、正面玄関に近い場所に食堂も設置して大規模改造をしていく予定です。



耐震改修が今年度 3 月末で竣工することになっていますが、県からの補助を受け、引き続き大きな投資を行なっていくこととなります。

また、この整備投資により医師の招聘や医療提供の質の向上につながることを期待されます。

信州大学付属病院を核に 総合診療科を新設、大町病院も連携し対応

9月12日付けの信毎とSBCテレビはこれからの高齢社会に対応するため、信大付属病院に総合診療科を設置し、医師不足に悩む大町病院などと連携し地域医療を進めていくことが報道されました。これは全国的な医師不足と医療の効率化、住民対応への迅速化をめざし現在の医療体制を抜本的に改善するための仕組みです。

県は今年度予算でこれらの診療体制に対応する施設やソフト事業を大町病院からの申請を認め、施設と体制づくりに全面的に支援していくとのことです。

大町病院が指定を受けたのは、昨年1月に県に真鍋馨部長を、信大病院へ天野院長を尋ね大町病院への医師の派遣等について守る会・市議会と一体となった要請（陳情）、市長（設置者）・管理者・院長・事務長による様々な取り組みと要請、それを支える確かな方針を示した優秀なスタッフなど大町病院からの繰り返しの強力な働きかけがあり、全県的な動きと合わせ早くからの取り組みを進めた結果です。

福島から静養の子供たちを診察

夏休みを利用して21名の福島の子供たちが大町市に静養にやってきました。日程を縫って7月31日、8月1日と両日にわたり、大町病院の甲状腺検査にてやってきました。

当日は、七夕の時季であったため、短冊に願いごとを書いて飾りつけをしてもらったり、普段の手洗いがどのくらい洗い残しがあるか器械を使って確認したりと、短い時間でしたが検査の合間に子供達と病院職員とが交流をすることができました。

また、来年も元気いっぱいの子供たちに会えることを楽しみにしています。

ふれあい広場で健康診断に150人が受診

10月5日文化会館中心に開催されたふれあい広場で、大町病院は健康診断、模擬手術、こどもナースコーナー等を設け市民に病院の存在と健康の大切さを訴えた。人気の健康診断には市民約150人が参加し大人気でした。病院職員も汗だくで対応していました。また模擬手術では高木先生が指導し、子供たちが挑戦していました。「将来は医師になるんだぞ！」との声がかかりました。



守る会主催、観光大使の藤巻高光先生講演会

10月12日、大町病院祭で公演いただいた大町市出身で大町市観光大使である藤巻高光先生を講師に「脳外科医は“ミクロの決死圏”の夢を見る」—脳科学の過去、現在、未来—と題して公開講演会を開催した。これは病院祭では職員も守る会役員も祭に関わっていたため、聴講出来なかったため再度お願いしたものです。



花の植栽無事終わる

イルミネーションの準備も始まる

10月20日と27日、守る会会員と十日会の皆さん延べ約30名が花の植栽とイルミネーションの準備作業を行い病院周辺のガーデニングの3カ年計画の最終年度としてその概要を造り終わりました。

台風による雨のため20日は雨の中、枯れる恐れのあるアジサイ15株を正面玄関西のルーフ脇に植えました。

27日は快晴に恵まれ、



27日に植栽に参加された皆さん：ハイチーズ

寄せられた花を約2時間かけて正面玄関横、思いやり駐車スペース脇、東門横などに集まった10数名で手分けして植えました。今回は大町北高等学校のボランティア担当の三村先生が、病院労組から奥原書記長が参加しました。花を植えることは何となく心地よく楽しいもので、来年咲く花を思い浮かべながら、和気あいあいのうちに作業が進められました。

又、十日会の皆さんは電源を用意し、手際よく鉄筋を切断、溶接をしながらイルミネーションの飾りつけに向けての準備をしていただきました。



開会にあたり松澤副会長の挨拶



新しい花壇：思いやり駐車場わきに



玄関西側花壇へ

アジサイ、クリスマスローズ



東門わきへのチューリップの植栽



駐車場わきへの植栽



イルミネーション準備に十日会の皆さん

市民からたくさんの花が寄贈される

色とりどりのアジサイの株、クリスマスローズ、チューリップ、水仙、丁子草、青花フジバカマ、フジバカマ、おきなぐさ、芙蓉、ゴールデンピラミッド、桔梗、オミナエシ、ミニ吾亦紅、姫ツルニチニチ草、ニリンソウ、菊、ハクチョウソウ、ラベンダー等のたくさんの花を田原、矢口、栗林、栗原、山田、佐藤、青柳、本山、高橋、種山など市民、会員の皆さんから寄せられました。

その量は軽トラ2台分に及びました。高価なそして珍しい花をたくさん寄付をいただき、ありがとうございました。



市民から玄関に菊の花が届く・・・会員の若林さんから丹精込めて育てた菊5鉢をいただきました。



ジビエ料理・尺八演奏で

村瀬翼先生（松本市立病院）をおもてなし

9月13日、守る会では村瀬先生を迎え歓迎の意味を込めて、感謝と激励、親睦を深めるため病院と協力し懇親会を中山高原農園カフェラビットで開催しました。

守る会北村喜男会長から主催者挨拶、井上院長の挨拶、村瀬翼先生からの挨拶、高木先生の乾杯で始まりました。開会早々、サプライズで尺八の新都山流太田亜希子（号：咲山）さんが演奏曲：中山高原にちなんで「おひさまのテーマ」、「赤とんぼ」、「G線上のアリア」、「月草夢」、アンコールにこたえ「見上げてごらん夜の星を」を演奏しました。

料理はジビエの他一般の料理もたくさん出され、会話が弾み9時過ぎまで続きました。

村瀬翼先生は松本市立病院から9月2日より30日まで一ヶ月に渡って大町病院へ勤務されます。村瀬先生は若さみなぎる新進気鋭の小児科医。

なお、参加者は病院から井上院長、高木副院長、大倉先生、降旗、小林、井出看護師、田々井視能訓練士降旗医務課長、守る会から北村会長、松澤副会長、種山事務局長、高橋次長、神社幹事、江津幹事が参加しました。



歓迎あいさつをする北村会長



挨拶をする村瀬先生



尺八で歓迎する太田亜希子さん

一萬田先生歓迎会美味しい地酒でおもてなし

10月18日、市内迫分精肉店の会場で一萬田正二郎先生（外科）をお迎えし懇談会を開催し、懇親を深めました。会は北村会長の歓迎のあいさつ、高木先生の乾杯で始まりました。江津幹事、島田会員、病院から麻田係長、諏訪、安達、小林看護師、高木先生、南先生、一萬田先生が集まり霜降牛肉のすき焼き、エビとキスのフライを肴に遅くまで親睦を深めました。先生は埼玉県大宮市の出身で剣道を極め、専門は外科だが、

臨床と病理の道も選択肢にあると話されました。酒の強さは酒豪の域にあつて、酔わないのか乱れないのかは不明。懇親会でも理路整然とした語り口は酒の場ではないような雰囲気でした。

守る会高橋事務局次長の用意した特別の地酒生酒2本、大町ワイン（赤）1本、燗酒4合瓶1本、ビール大瓶6本を空けました。閉会は南先生に発声をいただきました。

一萬田先生を囲んでジビエで懇親会



一萬田先生を囲んで10月25日、大町市郊外中山高原「ラビット」で、ジビエ料理を食べながら懇親を深めました。ジビエ料理ではウリ坊の丸焼を一萬田先生が外科医らしい慣れた手つきでナイフとフォークでさばき、参加者にふるまいました。会から諏訪光昭県議はじめ江津、清水、種山、高橋、「麻倉」から北原さんが参加、病院からは、勝野企画室長、降旗看護師、高木先生が参加しました。

SBC テレビ報道制作部が守る会活動取材に

SBC テレビ松本放送局報道制作部（花岡記者と太田カメラマンらスタッフ）は守る会の様々な活動取材し、編集の上報道するとして取材を始めました。



第1回目は村瀬翼先生を囲んでのジビエ料理での懇親会の様子取材に見えられました。

今後、地域懇談会、カモンカ学習会、イルミネーション点灯などを取材する予定です。

守る会も取材に協力していくこととします。

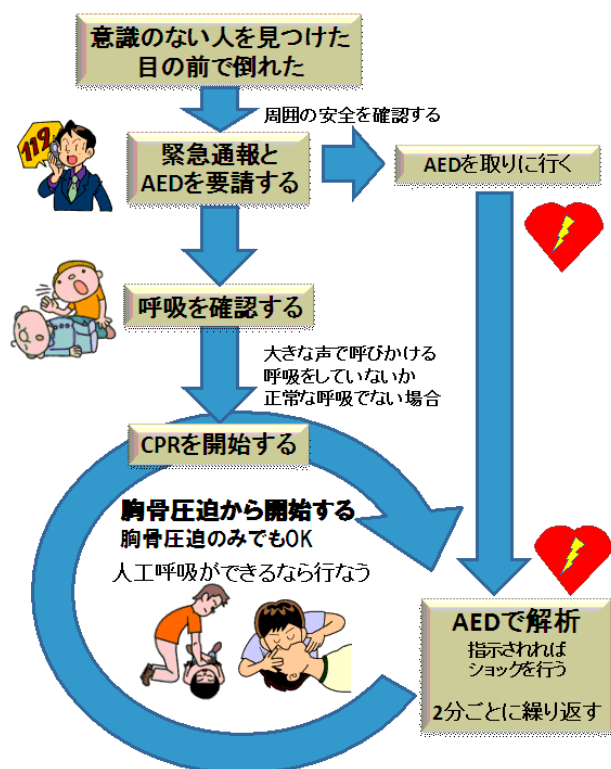
◇◇・・・病院では毎週のように勤務終了後、研修会や講演会が開かれ、スタッフは自らの知識や技能向上のために研鑽に励んでいます。その一端を取材しました。・・・◇◇

院内 BLS <Basic Life Support (一次救命処置)> 研修会開かれる

急に倒れたり、窒息を起こした人に対して、その場に居合わせた人が、救急隊や医師に引き継ぐまでに行う救急手当の事です。正しい知識と適切な処置の仕方を知って、誰でも行えるようになりましょう。ということで、9月17日～9月27日の間に、1グループ6～9名程度で全員が出席できるよう勤務を調整し、全10回コースを開催しました。参加者約300名、インストラクター24名の大きな研修になりました。

人の命を救うためには繰り返しのトレーニングが必要です。知識があっても、実践するのは困難かもしれません。本当にBLSが必要な時に、しっかりと実践できるよう、実践に基づいたトレーニングを繰り返し行うことで、有事の際に必要な技術を身体で覚えることができることが大切です。毎年、継続してゆきたいと思います。

ご協力いただきました皆さんありがとうございました。報告： 降旗いずみ（外来看護師長）



守る会会費納入のお願い

24、25年度分の会費の納入をお願いします。なお都合のつかない方は、大町病院1階ロビーのカウンターにおいて医事課外来、高橋（健）主任に預けていただいても結構です。新規会員も募集中です。加入者を紹介ください。

インターネットに会報が掲載されています。御覧ください。

守る会会報1号から28号までがインターネット上に掲載されています。市立大町総合病院ホームページの右側下段の「病院を守る会」バナーをクリック、または「市立大町総合病院を守る会」で検索してみてください。会の取り組みを掲載した会報がカラー写真で掲載されています。御覧ください。